

Bauduin Collection

Photograph Collection of Japan in Bakumatsu-Meiji Period

ボードイン・コレクションとは、幕末・明治に西洋医学の指導者として来日したオランダ人のアントニウス・ボードインが、オランダ領事であったその弟アルベルト・ボードインと協力し、日本滞在中に撮影および収集した古写真アルバムです。
(長崎大学附属図書館所蔵)

ネット上でも閲覧できます。
日本古写真アルバムボードイン・コレクション
<http://oldphoto.lb.nagasaki-u.ac.jp/bauduin/>

幕末・明治を知る西洋の男たち

3

経済学部教授
柴多 一雄
Shibata Kazuo

近代西洋医学の父、ポンペ

ポンペ・ファン・メルデルフオールトは、一八二九年ベルギーのブルージュ(当時はネーデルラント王国領)で生まれた。ユトレヒト陸軍軍医学校を卒業後、海軍に入り、スマトラ、モルッカ、ニューギニアなどで勤務した。

安政四年(一八五七)、二八歳のとき、長崎海軍伝習所の第二次海軍伝習派遣隊の医官として、指揮官のカッテンディーケとともに、幕府がオランダに注文して建造した蒸気船「ヤバシ号」(成臨丸)で来日した。

来日二カ月後の九月二十六日(西暦では十一月十二日)、ポンペは長崎奉行所西役所現在の長崎県庁の一室で幕府医官の松本良順ら十一名に最初の講義を行った。長崎大学医学部はこの医学伝習所を基礎として発展したため、この日を創立記念日としている。

しかし、西役所の部屋は多数の学生に講義するには手狭であり、ほどなく大村町の高島秋帆邸内(現在の長崎地方裁判所)に移転したが、ここも十分ではなかったため、ポンペは臨床教育もできる本格的な病院の建設を提案した。

文久元年(一八六一)、小島郷

佐古(現在の佐古小学校)に医学所と養生所後、精得館と改称)が完成し、松本良順が頭取、ポンペが教頭に就任した。養生所は日本最初の西洋式病院で、各室十五のベッドを収容できる八つの病室のほか、隔離患者収容室や手術室などを備えていた。

ポンペの講義は、自ら学んだユトレヒト陸軍軍医学校のカリキュラムにならったもので、物理学、化学などの基礎的学問や人体解剖学、組織学といった基礎医学からはじめて、病理学総論、内科学、外科学、眼科学などの臨床医学へすすむという、わが国最初の系統的西洋医学教育であった。

また、上野彦馬はポンペについて「化学を学び、写真術を習得して、わが国最初といわれる写真館を文久二年(一八六二)に開業した。同年秋、五年間の任期を終えたポンペは後任のボードインに引き継ぎを行い、商船「コロンブス・アンナ号」で帰国した。この写真は、そのころ撮影されたものと考えられている。

オランダに帰国したポンペは、榎本武揚ら幕府が派遣したオランダ留學生の監督・世話にあたり、海軍退役後はハーグで開業し、日本滞在中の知見をもとに『日本に

おける五年間』(一八六七-七八刊行)を著した。『ポンペ日本滞在見聞記』としてその一部が翻訳。またハーグ市の参事会員に就任し、赤十字社の委員としても活躍した。一八七五年には榎本武揚駐露特命全権公使の求めに応じて外交顧問としてロシアのサンクトペテルブルクに赴き、二年間滞在了。ロシアから帰国後は牡蠣の養殖に従事したが、晩年には事業に失敗し、一九〇八年ブリュッセルで没した。七九歳であった。

古写真データ

目録番号: 6211
撮影者: A. F. ボードイン
アルバム名: ボードインコレクション(2)
年代: 1862
色彩: モノクロ
形状: 133x156
整理番号: 122 7 0
キーワード: ボードインコレクション



帰国直前の貴重な写真

J. L. C. Pompe van Meerdervoort (1829 ~ 1908)